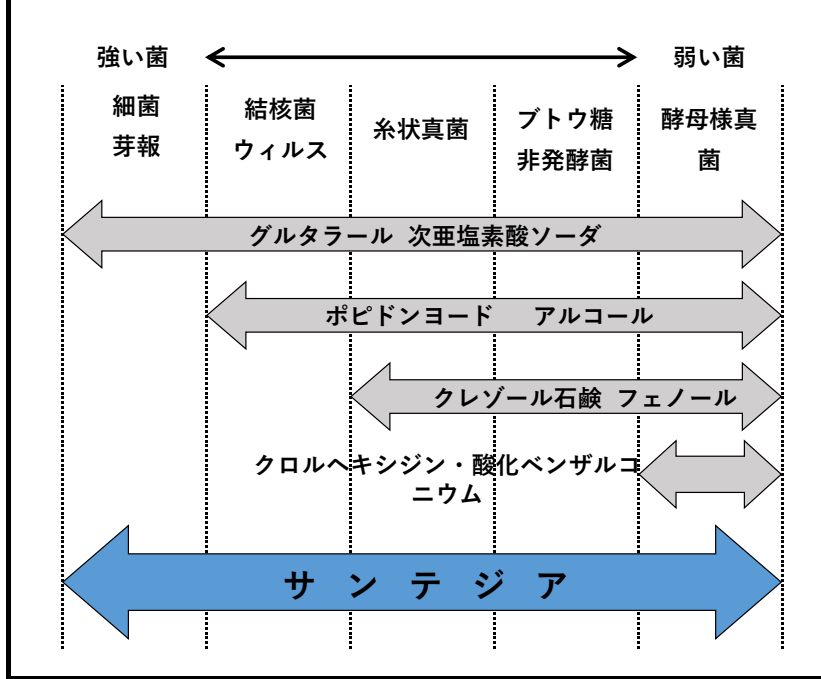


代表的消毒剤の殺菌に対する抗菌スペクトルの比較



各種薬剤との比較 (参考文献「東邦大学医学部附属病院 臨床工学部 第26回日本病院設備学会(1997)発表より」)

	対象物				対象微生物							
	環境	金属	人の皮膚	人の粘膜	一般細菌	MRSA	感受性菌	耐性菌	真菌	芽胞菌	HIV	
次亜塩素酸水 (100ppm pH6.5)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
グルタラール	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
次亜塩素酸ナトリウム	△	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○
消毒エタノール	△	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
ポピドンヨード	×	×	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
クレゾール	△	△	△	△	○	○	○	○	△	×	×	×
塩化ベンザルコニウム	○	○	○	○	○	△	○	×	△	×	×	×
クロルヘキシジン	○	○	○	×	○	△	○	×	△	×	×	×

殺菌効果試験 (in vitro : 試験管内)

本試験は試験管内での有機物のない状態の試験で次亜塩素酸ソーダのpH調整の効果が高くなる証明のための殺菌効果の比較試験です。

試験菌を添加した時の試験水の生菌数

試験菌	検体 ※1	添加菌数	1mLあたりの生菌数		
			1分後	3分後	5分後
レンサ球菌	1)	1.9×10^6	< 10	< 10	< 10
	2)	1.9×10^6	< 10	< 10	< 10
	3)	1.9×10^6	< 10	< 10	< 10
枯草菌 (芽胞)	1)	4.6×10^6	3.7×10^5	< 10	< 10
	2)	4.6×10^6	4.2×10^6	4.3×10^6	4.2×10^6
	3)	4.6×10^6	4.4×10^6	4.5×10^6	4.5×10^6
カンジダ	1)	2.3×10^6	< 10	< 10	< 10
	2)	2.3×10^6	2.5×10^3	< 10	< 10
	3)	2.3×10^6	< 10	< 10	< 10
黒コウジカビ	1)	2.0×10^5	< 10	< 10	< 10
	2)	2.0×10^5	2.0×10^2	30	< 10
	3)	2.0×10^5	2.0×10^5	50	< 10
大腸菌	1)	4.3×10^6	< 10	< 10	< 10
	2)	4.3×10^6	< 10	< 10	< 10
	3)	4.3×10^6	< 10	< 10	< 10
黄色ブドウ球菌	1)	4.6×10^6	< 10	< 10	< 10
	2)	4.6×10^6	< 10	< 10	< 10
	3)	4.6×10^6	< 10	< 10	< 10
MRSA	1)	3.4×10^6	< 10	< 10	< 10
	2)	3.4×10^6	< 10	< 10	< 10
	3)	3.4×10^6	< 10	< 10	< 10
サルモネラ	1)	3.4×10^5	< 10	< 10	< 10
	2)	3.4×10^5	< 10	< 10	< 10
	3)	3.4×10^5	< 10	< 10	< 10
緑膿菌	1)	1.6×10^5	< 10	< 10	< 10
	2)	1.6×10^5	< 10	< 10	< 10
	3)	1.6×10^5	< 10	< 10	< 10

※1

- 1) サンテジア : 有効濃度57ppm pH5.2 (23°C)
- 2) 塩化ベンザルコニウム : 有効濃度0.05%
- 3) 次亜塩素酸ソーダ : 有効濃度200ppm pH8.64 (23°C)

<10とは?

研究機関における検出限界を表します。つまり菌が検出されなかったことを意味します。

添加菌数

各消毒剤に接触させる前の菌数です。

試験先: (財) 日本食品分析センター